

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズあみーるDo		公表日		2025年3月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	30	0	必要な物以外は置かないようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	30	0	出来るだけ職員数を増やしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	30	0	必要な物以外は置かないようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	30	0	常に整理整頓を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	30	0	別の部屋をもうけています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	30	0	職員とのコミュニケーションを大切に行っています。計画・実行・確認・改善を基本にしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	30	0	常に保護者と連携をとっている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	30	0	常に何かあれば素直に意見の交換をしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	30	0	同業者や外部事業者との意見を聞き入れている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	30	0	必要な研修会には参加している。また、外部の講師を招いている場合もある。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	30	0	必要に応じて行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	30	0	子どものニーズ・保護者のニーズを聞き職員で話し合い児童発達支援計画書を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	30	0	法人全体で考え・検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	30	0	児童の様子を聞き、計画を共有しこどもにあった支援をおこなっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	30	0	こどもにあった支援を中心にしている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	30	0	本人・家族・地域の移行を適切な移行として、具体的な内容を相談して決めている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	30	0	職員で話し合っ決めてしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	30	0	目標を切り替える必要がある。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	30	0	個別支援活動・集団活動の区別をし児童発達支援計画書を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	30	0	職員間で行事が行う前に打ち合わせを行い支援を行い、時と場合によってはLINEで行っています・	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	30	0	支援終了後、必ず職員で本日の様子等を話しあっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	30	0	日々の活動内容を記録し、職員間で共有し改善しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	30	0	計画の見直しの必要性があれば見直しをおこなっている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	30	0	当事業所において相談支援者がいて常に会議等に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	30	0	協力医療機関、幼稚園や保育所との連携を密にしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	30	0	職員が同僚を認め合い互いの交流を行い、支援内容を容等話し合っている。幼稚園・保育所・他の事業所と交流し訪問等を重ねて共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	30	0	就学時の移行に際しては支援内容を報告し情報を共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	30	0	児童相談員と話し合っている。	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	30	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	30	0	年1回ピッコロシアターで音楽会を開催し交流をはかっている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	30	0	保護者にお会いするたびに子どもの状況を聞いたり、話したりして。Lineの活用もしている。	
	31	(31は、事業所のみ回答)	30	0	ベアトレ・参観日を設定し家族との研修をもうけている。 契約時の説明でおこなっている。Lineを通して目で理解しやすい方法をとっている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	30	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	30	0	保護者に児童発達支援計画書を作成する前に打ち合わせを行います。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	30	0	保護者に児童発達支援計画書を作成する前に打ち合わせを行い、同意をいただいています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	30	0	定期的にもうけていますが、相談ごとについては適宜行っている。日々の状況変化で対応もしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	30	0	母親の会に呼ばれることがあります。ペアレント・保護者会・参観日週間を設定し交流の機会を持っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	30	0	適切に対応している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	30	0	行事等の案内をしています。月一回あみーる通信を週末にLineであみーるの様子をUPしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	30	0	会長が個人情報管理者として認定されているので、取扱いに注意している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	30	0	個々に応じた伝達方法で理解が深まる様に対応している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	30	0	年1回ピッコロシアターで演奏会を開催する場合、鑑賞に来ていただいている。塚口さんさんタウンでの行事も参加している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	30	0	4マニュアルを事業所の玄関に置いています。訓練も行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	30	0	訓練を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	30	0	最初の説明時に、こどもの状況を確認しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	30	0	最初の説明時に、食物アレルギー等、医師の指示等を聞き対応をしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	30	0	子どもの安全を第1に考え・検討している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	30	0	子どもの安全を第1に考え・検討している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	30	0	常に研修をしている。即時報告・対応している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	30	0	定期研修以外でも職員のミーティングで研修をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	30	0	身体拘束は行っていない。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	30	0	子どもの安全を第1に考え、検討している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	30	0	常に研修をしている。即時報告・対応している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	30	0	定期研修以外でも職員のミーティングで研修をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	30	0	身体拘束は行っていない。	